

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
日本概論 1 <薬>	共通教養科目	戸井田 克己	1
日本概論 2 <薬>	共通教養科目	岡田 昌彰	4
日本概論 3 <薬>	共通教養科目	平林 一成	8
日本概論 4 <薬>	共通教養科目	平林 一成	11
日本語リサーチメソッド1 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	14
日本語読解 1 <薬>	外国語科目	森久 国雄	17
日本語アカデミックリーディング 1 <薬>	外国語科目	木津 可奈子	20
日本語作文 3 <薬>	外国語科目	川淵 節子	23
日本語会話 1 <薬>	外国語科目	野村 由香里	26
日本語会話 2 <薬>	外国語科目	野村 由香里	29
日本語会話 4 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	32
日本語リサーチメソッド2 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	35
日本語アカデミックリーディング 2 <薬>	外国語科目	木津 可奈子	38
日本語作文 4 <薬>	外国語科目	川淵 節子	41
初修英語基礎1 <薬>	外国語科目	溝上 瑛梨	44
初修英語基礎2 <薬>	外国語科目	溝上 瑛梨	48
日本語プレゼンテーション1 <薬 >	外国語科目	野村 由香里	52
日本語プレゼンテーション2 <薬 >	外国語科目	野村 由香里	55
日本語作文 1 <薬>	外国語科目	清水 優子	58
日本語作文 2 <薬>	外国語科目	清水 優子	61
能力試験対策1 <薬> (平成27～ 令和元年度入学生用)	外国語科目	藤井 和子	64
能力試験対策2 <薬> (平成27～ 令和元年度入学生用)	外国語科目	藤井 和子	67
初修英語コミュニケーション1 < 薬>	外国語科目	有本 好一郎	70
初修英語コミュニケーション2 < 薬>	外国語科目	有本 好一郎	73
日本語会話 3 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	76
プロジェクトワーク1 <薬> (令 和2～3年度入学生用)	外国語科目	河崎 絵美	79
プロジェクトワーク2 <薬> (令 和2～3年度入学生用)	外国語科目	河崎 絵美	83

科目名 :	日本概論 1 <薬>				
英文名 :	General Studies on Japan 1				
担当者 :	戸井田 克己				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この科目は留学生を対象にするものです。

この科目では、地理学と民俗学をベースに、日本列島各地の自然と風土を文化論的に解説します。資料映像を多く用い、視覚的な理解を図ります。

■ 授業形態

対面授業（授業回の半数以上が対面授業／それ以外は、メディア授業）

■ アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

留学生諸君にとっての異文化・異地域である「日本」について、地理的、歴史的、文化的、そして民俗的な特色を知ることによって、日本での留学生活の一助となることをめざします。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間テスト 40%

期末レポート 40%

授業への参加 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784807162062 『楽しく学ぶ小学生の地図帳—家庭学習用』（帝国書院）

必ず購入し、各回の授業に持参してください。

■ 参考文献

授業を通じて指示します。

■ 関連科目

日本概論 2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

18号館（北館）5階

toida@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期：水曜日3限

後期：水曜日3限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション／予備調査

予習内容：シラバスの内容理解

予習時間：30分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：30分

第2回 日本の諸地域①—47都道府県と8地方区分—

予習内容：日本の地方区分のしかたに関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第3回 日本の諸地域②—東日本と西日本—

予習内容：東日本と西日本の相違に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第4回 日本の諸地域③—表日本と裏日本—

予習内容：表日本と裏日本の相違に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第5回 日本の自然と風土①—対馬暖流の特性—

予習内容：日本を取り巻く海流に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第6回 日本の自然と風土②—離島—

予習内容：日本の領域と離島に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第7回 日本の自然と風土③—里山—

予習内容：里山の意義と役割に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第8回 日本の自然と風土④—稲作文化—

予習内容：稲作の気候条件に関する下調べ

予習時間：500分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：100分

第9回 中間テスト

予習内容：試験準備

予習時間：60分

復習内容：試験内容に関するふりかえり

復習時間：60分

第10回 日本人はるかな旅①—マンモスハンター シベリアからの旅立—

予習内容：シベリアの自然環境に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第11回 日本人はるかな旅②—巨大噴火に消えた黒潮の民—

予習内容：黒潮に関する下調べ
予習時間：60分
復習内容：講義内容のふりかえり
復習時間：60分

第12回 日本人はるかな旅③—海が育てた森の王国—

予習内容：縄文文化に関する下調べ
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：60分

第13回 日本人はるかな旅④—イネ 知られざる1万年の旅—

予習内容：弥生文化に関する下調べ
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：60分

第14回 日本人はるかな旅⑤—そして“日本人”が生まれた—

予習内容：日本人はるかな旅①～④に関するふりかえり
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：60分

第15回 まとめとふりかえり

予習内容：第1回～第14回に関するふりかえり
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：120分

定期試験

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	日本概論 2 <薬>				
英文名 :	General Studies on Japan 2				
担当者 :	岡田 昌彰				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

日本に滞在してまもない留学生を対象に、日本の都市の特徴ならびに国土づくりの歴史と現況を概観し、その中から日本ならではの自然観や風土の特徴を理解する。言うまでもないが、近畿大学は「大阪」という世界レベルの現代的大都市の中にあり、一方では京都・奈良・和歌山・滋賀といった日本文化の本質を理解する上できわめて有利な歴史的都市の近傍に立地している。このような様々な「歴史の層」の重層する近畿地方を理解することは、日本の国土、ひいては日本文化そのものを理解することを意味すると言っても過言ではない。

受講生諸君には、このような大学にて留学生として勉学に励むことの大きなアドバンテージをフル活用するとともに、日本人が築いてきた国土の姿やその風合いの中に日本文化の特徴を見出し、その本質を深く理解してもらいたい。

また、実際に現地（近畿地区内）に足を運び、座学で得られた知識を現場にて体得する機会を作ることとしたい。

この講義では、複数のテーマから関心のあるものを参加学生が選択し、それについて調査研究を実施のうえプレゼンテーションを行う。これに基づいてディスカッションを行う。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

日本の国土の成り立ちおよび文化の基本的理解。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

プレゼンテーションならびにレジュメ 80%

レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間内にコメントと総評を行います。

■ 教科書

レジュメ配布

■ 参考文献

[ISBN]9784306092884 『物語日本の土木史：大地を築いた男たち』（長尾義三、鹿島出版会）

■ 関連科目

日本概論1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

適宜（事前にメールを送って下さい）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

受講生は複数の設定テーマから関心のあるものを選択し、それに基づいてプレゼンテーションを行う。これをテーマとしてディスカッションを行う。なお、プレゼンテーションに際しては予め関連する現地に足を運び、現地で学生自身が撮影した写真をもとに実施するものとする。

なお、インターネットのコピー＆ペーストは成果として認められないので十分に注意されたい。

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

第1回 ガイダンス

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

授業の進め方やプレゼンテーションの方法について説明する。

第2回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第3回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第4回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第5回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第6回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第7回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第8回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第9回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第10回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第11回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第12回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第13回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第14回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第15回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

定期試験：実施しない

■ホームページ

景観工学研究室 <http://techno-scape.com/>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本概論3 <薬>				
英文名 :	General Studies on Japan 3				
担当者 :	平林 一成				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

日本文化には、アニメ、コミック、映画、テレビドラマ、文学、古典芸能（能や歌舞伎）など、さまざまなジャンルがあります。

そして、これらの異なるジャンルが互いに深く影響しあうことによって、日本文化は革新的な表現を生み出してきました。

たとえば、『GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊』の続編である『イノセンス』は、未来の世界を舞台としたSFアニメですが、作品の中では世阿弥（げあみ、古典芸能の1つである能を飛躍的に発展させた室町時代の人物）の言葉が何度も引用されてテーマを語ります。

また、実写版『宇宙戦艦ヤマト SPACE BATTLESHIP YAMATO』では、戦闘機が空中で静止状態になることがあります。これは古典芸能の歌舞伎の見得（みえ）を応用したものです。

本講義「日本概論3」（前期、留学生対象）では、以上のような興味深い例を中心に、さまざまなジャンルの作品を取り上げ、日本文化の全体像を描き出していきます。

なお、この「日本概論3」（前期）は、「日本概論4」（後期）とセットになっており、両方を受講することが望ましいのですが、いずれか一方だけでも登録は可能ですので、「授業計画の内容」を参考にして履修プランを組み立ててみてください。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

“日本語の文章を読むこと”と“古典芸能からアニメに至るまで、多種多様な映像を鑑賞すること”の2つを通じて、日本文化への理解を深めるとともに、自国の文化を見つめ直す。

なお、この科目の履修は近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの4の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

ミニツツペーパー（提出方法等については講義にて説明） 50%

発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの総評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載。

■ 教科書

毎回、レジュメを配布。

■ 参考文献

講義中に指示。

■ 関連科目

日本概論4（後期）

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠。

■研究室・メールアドレス

研究室：18号館南棟3階平林研究室

メールアドレス：k-hirabayashi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

教場にて指示。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義の全体像を理解。

復習時間：60分

第2回 前提となること。

予習内容：ガイダンスを踏まえつつ、シラバスの「授業計画の内容」を把握しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：受講に際して前提となる事項を確認。

復習時間：60分

第3回 『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』（1978）など：シナリオを読み、映像を鑑賞する。

予習内容：『宇宙戦艦ヤマト』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：文字情報（シナリオ）がどのように映像化されていくかを考察。

復習時間：60分

第4回 『機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙』（1982）など：シナリオを読み、映像を鑑賞する。

予習内容：『機動戦士ガンダム』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：文字情報（シナリオ）がどのように映像化されていくかを考察。

復習時間：60分

第5回 夏目漱石（なつめそうせき）の『夢十夜』（ゆめじゅうや）と、映画『ユメ十夜』

予習内容：夏目漱石『夢十夜』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：夢をめぐる小説や映像作品についての理解を深める。

復習時間：60分

第6回 岡本かの子「鮎」（すし）／小野二郎（おのじろう）のドキュメンタリー

予習内容：日本を代表する食文化である「すし」（漢字表記は「鮎」「寿司」など）について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：「すし」に関する認識を深める。

復習時間：60分

第7回 味覚の映像表現：『美味しんぼ』（おいしんぼ）・『ミスター味っ子』（ミスターあじっこ）・『食戟のソーマ』（しょくげきのソーマ）

予習内容：アニメ『美味しんぼ』『ミスター味っ子』『食戟のソーマ』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：味覚の映像表現に関する考察を深める。

復習時間：60分

第8回 日本の教育問題：テレビドラマ『女王の教室』（1）

予習内容：テレビドラマ『女王の教室』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：「ゆとり教育」についての考察を深める。

復習時間：60分

第9回 日本の教育問題：テレビドラマ『女王の教室』（2）

予習内容：テレビドラマ『女王の教室』及び「ゆとり教育」について予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：『女王の教室』のテーマについて、自身の経験に照らして考察。

復習時間：60分

第10回 SFアニメ『イノセンス』と世阿弥（ぜあみ）の『花鏡』（かきょう）をめぐって（1）

予習内容：SFアニメ『攻殻機動隊』『イノセンス』、及び、古典芸能の能について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：講義で扱った世阿弥の演劇理論について考察を深める。

復習時間：60分

第11回 SFアニメ『イノセンス』と世阿弥（ぜあみ）の『花鏡』（かきょう）をめぐって（2）

予習内容：SFアニメ『攻殻機動隊』と『イノセンス』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：『イノセンス』のテーマについて考察を深める。

復習時間：60分

第12回 歌舞伎の可能性：実写版『宇宙戦艦ヤマト SPACE BATTLESHIP YAMATO』と『L I F E！～人生に捧げるコント～』における「ナツキと歌舞伎」

予習内容：古典芸能の歌舞伎について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：歌舞伎の「見得」（みえ）について考察を深める。

復習時間：60分

第13回 発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第14回 発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第15回 発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本概論 4 <薬>						
英文名 :	General Studies on Japan 4						
担当者 :	平林 一成						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要

日本文化には、アニメ、コミック、映画、テレビドラマ、文学、古典芸能（能や狂言、歌舞伎）など、さまざまなジャンルがあります。

そして、これらの異なるジャンルが互いに深く影響しあうことによって、日本文化は革新的な表現を生み出してきました。

たとえば、河森正治（かわもりしょうじ）が総監督を務めた『マクロスF（TV版）』は、未来の宇宙移民船団を舞台としたSFアニメですが、主人公である戦闘機のパイロットは、世阿弥（ぜあみ、古典芸能の1つである能を飛躍的に発展させた室町時代の人物）の演劇理論を踏まえたセリフをつぶやきながら、決戦の場へと突入していきます。

また、『ルパン三世』セカンド・シーズンの第55話・56話では、登場人物が歌舞伎の演目の1つである『白浪五人男』（しらなみごにんおとこ）の登場人物になりきってセリフを述べ、見得（みえ）をきります。

本講義「日本概論4」（後期、留学生対象）では、以上のような興味深い例を中心に、さまざまなジャンルの作品を取り上げ、日本文化の全体像を描き出していきます。

なお、この「日本概論4」（後期）は、「日本概論3」（前期）とセットになっており、両方を受講することが望ましいのですが、いずれか一方だけでも登録は可能ですので、「授業計画の内容」を参考にして履修プランを組み立ててみてください。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

“日本語の文章を読むこと”と“古典芸能からアニメに至るまで、多種多様な映像を鑑賞すること”の2つを通じて、日本文化への理解を深めるとともに、自国の文化を見つめ直す。

なお、この科目の履修は近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの4の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

ミニツツペーパー（提出方法等については講義にて説明） 50%

発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの総評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載。

■ 教科書

毎回、レジュメを配布。

■ 参考文献

講義中に指示。

■ 関連科目

日本概論3（前期）

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠。

■研究室・メールアドレス

研究室：18号館南棟3階平林研究室

メールアドレス：k-hirabayashi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

教場にて指示。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義の全体像を理解。

復習時間：60分

第2回 前提となること。

予習内容：ガイダンスを踏まえつつ、シラバスの「授業計画の内容」を把握しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：受講に際して前提となる事項を確認。

復習時間：60分

第3回 『新劇場版 エヴァンゲリオン 序』：シナリオを読み、映像を鑑賞する。

予習内容：『新劇場版 エヴァンゲリオン 序』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：文字情報（シナリオ）がどのように映像化されていくかを考察。

復習時間：60分

第4回 芸能奉納（げいのうほうのう）：春日若宮御祭（かすがわかみやおんまつり）。

予習内容：1136年から始まった春日若宮御祭（かすがわかみやおんまつり）について調べ、予備知識を得ておく

予習時間：60分

復習内容：春日若宮御祭（かすがわかみやおんまつり）について考察を深める。

復習時間：60分

第5回 出崎統（でざきおさむ）のアニメ『源氏物語千年紀 Genji』

予習内容：『源氏物語』の「車争い」（くるまあらそい）と「六条御息所」（ろくじょうのみやすどころ）について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：『源氏物語』の映像化について考察を深める。

復習時間：60分

第6回 アニメ『マクロスF』と世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）その1

予習内容：マクロスシリーズ、および、古典芸能の能（のう）や世阿弥（ぜあみ）について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：マクロスシリーズと古典芸能について考察を深める。

復習時間：60分

第7回 アニメ『マクロスF』と世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）その2

予習内容：前回（第6回）の講義で配付した世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：TV版『マクロスF』において、世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）がどのように利用されたかを考察する。

復習時間：60分

第8回 アニメ『マクロスF』と世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）その3

予習内容：劇場版『マクロスF サヨナラノツバサ』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：これまでの講義の内容を振り返り、考察を深める。

復習時間：60分

第9回 『ゴジラ』（1954）

予習内容：ゴジラシリーズの第1作である『ゴジラ』（1954）について予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：ゴジラがどのように演じられたか、理解を深める。

復習時間：60分

第10回 『シン・ゴジラ』(2016)と野村萬斎(のむらまんさい)

予習内容：古典芸能の狂言(きょうげん)および野村萬斎(のむらまんさい)について調べ、予備知識を得る。

予習時間：60分

復習内容：野村萬斎(のむらまんさい)がどのようにゴジラを演じたか、理解を深める。

復習時間：60分

第11回 歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)と『ルパン三世』セカンドシーズン第55・56話

予習内容：『ルパン三世』について調べ、予備知識を得る。

予習時間：60分

復習内容：歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)が『ルパン三世』セカンドシーズン第55・56話においてどのように生かされているかを確認する。

復習時間：60分

第12回 歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)と『秘密戦隊ゴレンジャー』

予習内容：『秘密戦隊ゴレンジャー』について調べ、予備知識を得る。

予習時間：60分

復習内容：歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)が『秘密戦隊ゴレンジャー』においてどのように生かされているかを確認する。

復習時間：60分

第13回 発表(自分の考えや意見を述べる)。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第14回 発表(自分の考えや意見を述べる)。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第15回 発表(自分の考えや意見を述べる)。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語リサーチメソッド1 <薬>				
英文名 :	Reseach Method in Japanese 1				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

留学生の中には、与えられた課題にはきちんと取り組めるものの、自らテーマを探して研究をすることが不得手な学生が多い。そこで、日本語リサーチメソッド1・2では、自ら研究を進めていくプロセスを学ぶ。また、口頭発表など日本語によるプレゼンテーションの技術を身につけることも目的としており、参加者は授業に積極的に参加することが望まれる。また、教材の説明文には難しい漢字や表現があるため、N1レベル以上の日本語力を有する者の受講が望ましい。(学生の人数・レベルによっては、各回の授業予定内容は変更されることもある。)

■ 授業形態

対面授業(全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

論文を書くための技術を学ぶ

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4.異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身につけていること」の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

課題(授業内課題を含む) 60%

最終レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次回の授業時にフィードバックします。

■ 教科書

適宜プリントを配布する

■ 参考文献

[ISBN]9784893589606 『実践 研究計画作成法[第2版]—情報収集からプレゼンテーションまで—』(日本学生支援機構東京日本語教育センター, 凡人社: 2019)

[ISBN]9784874246184 『Good Writingへのパスポート—読み手と構成を意識した日本語ライティング』(田中 真理, くろしお出版: 2014)

■ 関連科目

日本語リサーチメソッド2

日本語作文3・4を終えていることが望ましい。

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

kasamatsu@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション / 1課：印象に残る自己紹介①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスを熟読してくる。

予習時間：30分

復習内容：学習した内容をまとめておく。

復習時間：60分

- ・ 1回目から出席をとり、進捗によっては課題も出しますので、登録は1回目の授業までに済ませておいてください。（登録していない場合も欠席扱いとなります）
- ・ 成績にも関係してきますので、1回目から必ず出席してください。
- ・ もし、初回までに登録できない理由があったり、同じ時間帯の他の授業と迷っているような場合は、その旨、事前に連絡してください。

第2回 1課：印象に残る自己紹介②（発表）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：120分

復習内容：印象に残るスピーチをするにはどうしたらよいか、まとめておく。

復習時間：30分

第3回 2課：ワードの使い方①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ワードの使い方を予習しておく。

予習時間：30分

復習内容：ワードの使い方について復習しておく。

復習時間：60分

第4回 2課：ワードの使い方②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ワードの使い方を予習しておく。

予習時間：30分

復習内容：ワードの使い方について復習しておく。

復習時間：60分

第5回 3課：論文の文章①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：書き言葉と話し言葉の違いについて考えておく。

予習時間：30分

復習内容：書き言葉と話し言葉の違いについて復習しておく。

復習時間：60分

第6回 3課：論文の文章②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：論文で使ってはいけない表現にはどんな表現があるか考えておく。

予習時間：30分

復習内容：論文で使ってはいけない表現についてまとめておく。

復習時間：60分

第7回 4課：アンケート調査の「テーマ」を決める。（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：アンケート調査のテーマを何にするか考えておく。

予習時間：30分

復習内容：アンケート調査のテーマにはどんなものがふさわしいか復習し、テーマを決定する。

復習時間：60分

第8回 5課：「アンケート項目」を考える。（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：アンケートの内容を考えておく。

予習時間：60分

復習内容：アンケートを作成する際の注意事項について復習しておく。

復習時間：30分

第9回 5課：「アンケート項目」を発表する（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：120分

復習内容：作成したアンケートの修正をする。

復習時間：60分

第10回 6課：アンケート結果の発表に必要な「数字」の表現（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：数字の表現にはどんなものがあるか予習しておく。

予習時間：60分

復習内容：アンケート結果の発表に必要な「数字」の表現を復習しておく。

復習時間：30分

第11回 7課：アンケート結果の発表に必要な「グラフ」の表現（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：グラフにはどんなものがあるか予習しておく。

予習時間：60分

復習内容：アンケート結果の発表に必要な「グラフ」の表現を復習しておく。

復習時間：30分

第12回 8課：アンケート結果の発表に必要な「パワーポイント」の作り方。（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：どんな「パワーポイント」を作るのか考えておく。

予習時間：60分

復習内容：「パワーポイント」の作り方について復習しておく。

復習時間：120分

第13回 9課：「アンケート調査」の結果発表①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：パワーポイントを作成し、発表の準備しておく。

予習時間：120分

復習内容：発表について良かった点・悪かった点について確認しておく。

復習時間：60分

第14回 9課：「アンケート調査」の結果発表②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：パワーポイントを作成し、発表の準備をする。

予習時間：30分

復習内容：発表について良かった点・悪かった点について確認しておく。

復習時間：60分

第15回 総復習（論文の文章・グラフの説明・アンケート調査）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布された資料に目を通しておく。

予習時間：30分

復習内容：これまでに学習した内容を確認しておく。

復習時間：120分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語読解 1 <薬>				
英文名 :	Japanese Reading Comprehension 1				
担当者 :	森久 国雄				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

大学に入って間もない留学生にとって、日本語で書かれた学術的な文章に慣れることは急務である。この授業は、大学でのあらゆる勉学の基礎となる読解力を養成、向上させることを目的とする。毎回プリントを配布し、読解の実践トレーニングを行なっていく。その際、学術的な文章を読み解いていく上でのポイントやコツを提示するので、それらを十分に体得し、諸分野の文章にチャレンジして欲しい。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

比較的理解しやすい学術的文章の読解に慣れ、それらの文章の「型」が把握できるようになること。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

各回の課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

プリントを配布

■ 参考文献

[ISBN]9784757419292 『上級学習者のための日本語読解ワークブック：試験に強くなる!』（目黒真実, アルク）

■ 関連科目

日本語読解 2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介シートを作成する。

復習時間：30分

第2回 読解演習①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第3回 読解演習②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第4回 読解演習③（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第5回 読解演習④（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第6回 読解演習⑤（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第7回 読解演習⑥（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第8回 読解演習⑦（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第9回 読解演習⑧（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第10回 読解演習⑨（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第11回 読解演習⑩（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第12回 読解演習⑩（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第13回 読解演習⑪（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第14回 読解演習⑫（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第15回 まとめ（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：これまで授業で読んできた文章を再度読み返す。

予習時間：60分

復習内容：今回の授業で触れた事柄を十分に理解した上で、定期試験の対策を行う。

復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名	日本語アカデミックリーディング1 <薬>				
英文名	Academic Reading in Japanese 1				
担当者	木津 可奈子				
開講学科	外国人特例科目				
単 位	1単位	開講年次	1～4年次	開講期	前期
科目区分	外国語科目				
備 考					

■ 授業概要

新聞や雑誌などの記事を用い、様々な時事トピックについて読んでいく。時事問題を議論する際に必要な表現や語彙を学習し、さらにペアやグループによる活動を行いながら、トピックに対する自分の考えを深める。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

日本語で時事問題を理解し、議論できるようになること。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

授業活動、授業中の課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に「試験の要点と解説」を配布します。

■ 教科書

プリントを配布

■ 参考文献

必要に応じて紹介する

■ 関連科目

日本語読解1, 2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第2回 各業界の展望（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第3回 パンデミックとその後（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第4回 成人年齢をめぐって（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第5回 食の未来（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第6回 格差の諸相（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第7回 ワークスタイルの変化（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第8回 人口減少（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第9回 家族のかたち（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第10回 関西経済と万博（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第11回 自動運転の課題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第12回 気候変動と環境（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第13回 雇用形態の変化（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第14回 自然災害と対策（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第15回 エンターテインメントの将来（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語作文 3 <薬>				
英文名 :	Japanese Composition 3				
担当者 :	川淵 節子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

日本語作文1・2で学習した「論理的な文章」を書くための基本をベースに、本講義ではその応用としてよりアカデミックなレベルのレポート、論文要旨、学術論文などを書く力をつけていく。

毎回、テーマに合わせて文章表現や語彙を学ぶだけでなく、それらによって構築される典型的な文章の展開パターンを学習することによって、自然に学術的文章が書けるようになることを目的としている。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学術的文章の典型的な展開パターンを身につけ、論理的な文章が正確に書く力を身につけることを目標としている。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題 60%

最終レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に前回の課題について解説する。

■ 教科書

[ISBN]9784757426344 『大学・大学院 留学生の日本語〈4〉 論文作成編』（アカデミックジャパニーズ研究会,アルク）

■ 参考文献

[ISBN]9784874241271 『大学生と留学生のための論文ワークブック』（浜田 麻里, くろしお出版）

■ 関連科目

日本語作文1. 2. 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回の授業で通知

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業ガイダンス 第1課 作文の基本 (1) (授業形態：講義またはアクティブラーニング)

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した内容を振り返り「作文のきまり」を習得する。

復習時間：30分

第2回 第2課 作文の基本（2）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で学習した内容を振り返り「作文のきまり」を習得する。

復習時間：30分

第3回 第3課 課題の提示（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第4回 第4課 目的の提示（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第5回 第5課 定義と分類（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第6回 第6課 図表の提示（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第7回 第7課 変化の形容（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第8回 第8課 対比と比較 レポートのテーマを考える（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。レポートのテーマを考える。

予習時間：60分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第9回 第9課 原因の考察 レポートのアウトラインを考える（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。最終レポートのアウトラインを作成する。

予習時間：60分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第10回 第10課 列挙（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第11回 第11課 引用 引用文献の書き方（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。レポートに必要な資料を収集する。

予習時間：60分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第12回 第12課 同意と反論（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。最終レポートに必要な資料を収集する。

予習時間：60分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第13回 第13課 帰結 最終レポート序論執筆（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。序論を書き始める。

予習時間：60分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第14回 第14課 結論の提示 最終レポート執筆（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。最終レポートの執筆を進める。

予習時間：60分

復習内容：最終レポートの執筆を進める。

復習時間：60分

第15回 最終レポート執筆（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：最終レポートの執筆を進める。

予習時間：90分

復習内容：授業で学習したことを踏まえ、最終レポートを完成させる。

復習時間：90分

最終レポート提出

期日までに最終レポートを完成させ、提出する。

■ ホームページ**■ 実践的な教育内容**

-

科目名 :	日本語会話 1 <薬>				
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 1				
担当者 :	野村 由香里				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

1. 留学生が、ディスカッションを行うことにより、互いの理解を深めたり、意見の統一をはかるためのコミュニケーションの向上を目指す。
2. 留学生が自分の言いたいことを相手に適切に伝え、また、相手の言っている意図を的確に理解するために、これまで学習してきた語彙や文法に加えて、更に高度な表現等を学習する。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・フィールドワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1. 留学生が日本語を介し、コミュニケーション力と日本語力を高める。
2. 留学生がこれまでに学習してきた語彙や文法・表現等に加え、更に高度な日本語を身につける。
3. この科目の修得は近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身につけていること」の達成に参与している。

■ 成績評価方法および基準

授業内課題点 60%

定期試験 30%

評価表点 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します

試験終了後に個別にコメントをします

■ 教科書

特に指定しない

適宜ハンドアウトを配布する

■ 参考文献

[ISBN]9784883193615 『会話に挑戦!中級前期からの日本語ロールプレイ』(中居 順子, スリーエーネットワーク: 2005)

[ISBN]9784883195800 『会話の授業を楽しくするコミュニケーションのためのクラス活動40—初級後半から上級の日本語クラス対象』(石黒 圭, スリーエーネットワーク: 2011)

■ 関連科目

日本語会話2 3 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業概要の説明／自己紹介／「印象的な自己紹介」語彙・表現の学習1（授業形式：講義）

予習内容：シラバスを熟読しておくこと

予習時間：30分

復習内容：授業中に会った新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第2回 「印象的な自己紹介」語彙・表現の学習2（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業で習った語彙・表現を使って、自己紹介文を考えておく

復習時間：120分

第3回 「印象的な自己紹介」発表（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：印象的な自己紹介が用紙を見ないでできるよう、よく練習しておく

予習時間：90分

復習内容：発表後の振り返り

復習時間：60分

第4回 ディスカッション1「ディスカッションとは」「上手な意見の伝え方」「説明のコツ」（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に会った新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第5回 ディスカッション テーマ1「日本語学習について」（授業形式：学生によるディスカッションと教師による評価）

予習内容：テーマに関する自分の意見をまとめておく

予習時間：90分

復習内容：活動の振り返り

復習時間：60分

第6回 ディスカッション テーマ2「日本で生活して」（授業形式：学生によるディスカッションと教師による評価）

予習内容：テーマに関する自分の意見をまとめておく

予習時間：90分

復習内容：活動の振り返り

復習時間：60分

第7回 ディスカッション テーマ3「日本人と話してみたいこと」（授業形式：学生によるディスカッションと教師による評価）

予習内容：テーマに関する自分の意見をまとめておく

予習時間：60分

復習内容：活動の振り返り

復習時間：120分

第8回 日本人学生とのディスカッション（授業形式：学生によるディスカッションと教師による評価）

予習内容：日本人学生に具体的にどんな質問をするのか考えておく

予習時間：90分

復習内容：活動の振り返り

復習時間：60分

第9回 会話テーマ「困った状況を伝えて交渉しよう」語彙・表現の学習（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業内に会った語彙や表現の復習をする

復習時間：60分

第10回 会話テーマ「困った状況を伝えて交渉しよう」発表（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：応用会話の発表準備

予習時間：120分

復習内容：発表の振り返り

復習時間：60分

第11回 会話テーマ「不満に対処しよう」語彙・表現の学習（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業内に会った語彙や表現の復習をする

復習時間：60分

第12回 会話テーマ「不満に対処しよう」発表（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：応用会話の発表準備

予習時間：120分

復習内容：発表の振り返り

復習時間：60分

第13回 会話テーマ「医者に症状を説明する」語彙・表現の学習（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業内に会った語彙や表現の復習をする

復習時間：60分

第14回 会話テーマ「医者に症状を説明する」発表（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：応用会話の発表準備

予習時間：120分

復習内容：発表の振り返り

復習時間：60分

第15回 会話テーマ「日時の変更を求める」語彙・表現の学習（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業内に会った語彙や表現の復習をする

復習時間：60分

定期口頭試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語会話 2 <薬>				
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 2				
担当者 :	野村 由香里				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

1. ディベートを通し、論理的思考、説得力などを高める。
2. 日常生活で遭遇する、日本人が話す自然な日本語の習得。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1. ディベートを通し、論理的思考、説得力などを深める。
2. 留学生が一般の日本人が話している話し方を習得し、よりよいコミュニケーションを築けるように練習する。
3. この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身につけていること」の達成に参与している。

■ 成績評価方法および基準

発表点 60%
定期試験 30%
評価表点 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します
試験終了後に個別にコメントをします

■ 教科書

特に指定しない
適宜ハンドアウトを配布する

■ 参考文献

[ISBN]9784874243725 『知のナビゲーター—情報と知識の海-現代を航海するための』（中澤 務, くろしお出版 : 2007）
[ISBN]9784883195800 『会話の授業を楽しくするコミュニケーションのためのクラス活動40—初級後半から上級の日本語クラス対象』（石黒 圭, スリーエーネットワーク : 2011）

■ 関連科目

日本語会話1 3 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

youxiangli0920@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業概要の説明・自己紹介「ディベート」とは（授業形式：講義）

予習内容：シラバスを熟読しておく

予習時間：30分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第2回 ディベート1「役割と表現」（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第3回 ディベート2「ディベートを理解する1」（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第4回 ディベート3「ディベートを理解する2」（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第5回 ディベート4「ミニディベート」（授業形式：学生によるディベート）

予習内容：ミニディベートに必要な資料を集め、整理しておく

予習時間：90分

復習内容：ディベートの振り返り

復習時間：60分

第6回 ディベート5「立論」（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第7回 ディベート6「反駁・尋問の仕方」（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第8回 ディベート7「判定の仕方」（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：60分

第9回 ディベート8 試合1（授業形式：学生によるディベート）

予習内容：ディベート試合に備え資料を整理し、自分の意見をまとめておく

予習時間：120分

復習内容：ディベートの振り返り

復習時間：60分

第10回 ディベート9 試合2 準備（授業形式：講義及びグループでのディベート準備）

予習内容：論題に関する資料を探し、ディベートに備え準備しておく

予習時間：120分

復習内容：肯定側・否定側両方の立論を書く

復習時間：100分

第11回 ディベート試合2（授業形式：学生によるディベート）

予習内容：ディベート試合に備え資料を整理し、自分の意見をまとめておく

予習時間：120分

復習内容：ディベートの振り返り

復習時間：60分

第12回 「相手について興味を持って尋ねる」語彙・表現の学習と会話作成（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：120分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：190分

第13回 「相手について興味を持って尋ねる会話発表

「二次会でもう少し相手を知る」語彙・表現の学習と会話作成（授業形式：講義及び発表）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：120分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：90分

第14回 「二次会でもう少し相手を知る」会話発表

「新しい仲間と出会う」語彙・表現の学習と会話作成（授業形式：講義及び発表）

予習内容：配布された資料に目を通しておく

予習時間：120分

復習内容：授業中に聞いた新しい語彙や表現の復習と定着

復習時間：90分

第15回 「新しい仲間と出会う」会話発表

「仲間とご飯」語彙・表現の学習と会話作成（授業形式：講義及び発表）

予習内容：これまでに学習したことを振り返り、期末試験に備えまとめておく

予習時間：120分

復習内容：総復習

復習時間：120分

定期試験：口頭試験

第12回～15回の内容についての応用会話の作成と発表

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語会話 4 <薬>				
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 4				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

- ・敬語を正しく使う。
- ・話題に応じた適切な語彙や表現を使う。
- ・正しい文法（特に助詞・自動詞・他動詞）できちんと話す。
- ・何が言いたいのかが伝わるように、構成を考えて話をする。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

- ・やや高度な敬語表現を用いた会話表現の習得。
- ・この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身につけていること」の達成に参与している。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題 40%
 中間テスト 30%
 定期試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間にフィードバックをします。

■ 教科書

適宜プリントを配布

■ 参考文献

- [ISBN]9784883193615 『会話に挑戦!中級前期からの日本語ロールプレイ』(中居 順子, スリーエーネットワーク : 2005)
 [ISBN]9784872179538 『CD付 1日10分のシャドーイング! 就活・仕事のにほんご会話 Ichinichi 10-pun no Shadooingu! Shuukatsu/Shigoto no Nihongo Kaiwa』(公益社団法人 国際日本語普及協会 (AJALT), アスク : 2015)
 [ISBN]9784883193554 『日本語上級話者への道—きちんと伝える技術と表現』(稚佳子, 荻原, スリーエーネットワーク : 2005)
 [ISBN]9784866395708 『[音声DL版] 新にほんご敬語トレーニング』(金子広幸, アスク : 2022)

■ 関連科目

日本語会話1/2/3

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス/1課「敬語：断る」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスを熟読する

予習時間：30分

復習内容：授業で学んだ「丁寧な断り方」を復習しておく。

復習時間：60分

- ・1回目から出席をとり、進度によっては課題も出しますので、登録は1回目の授業までに済ませておいてください。（登録していない場合も欠席扱いとなります）
- ・成績にも関係してきますので、1回目から必ず出席してください。
- ・もし、初回までに登録できない理由があったり、同じ時間帯の他の授業と迷っているような場合は、その旨、事前に連絡してください。

第2回 1課「敬語：断る」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今までに学習した敬語を復習しておく。

予習時間：30分

復習内容：授業で学んだ「丁寧な断り方」を復習しておく。

復習時間：60分

第3回 2課「敬語：電話」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新しく学習する課の語彙や表現の意味を調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業で学んだ「敬語を使った電話の表現」を復習しておく。

復習時間：60分

第4回 2課「敬語：電話」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新しく学習する課の語彙や表現の意味を調べておく

予習時間：30分

復習内容：授業で学んだ「敬語を使った電話の表現」を復習しておく。

復習時間：60分

第5回 3課「敬語：報告」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新しく学習する課の語彙や表現の意味を調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業で学んだ「目上の人への報告の表現」を復習しておく。

復習時間：60分

第6回 3課「敬語：報告」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新しく学習する課の語彙や表現の意味を調べておく。

予習時間：30分

復習内容：授業で学んだ「目上の人への報告の表現」を復習しておく。

復習時間：60分

第7回 ■ 中間テスト（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：試験の準備をしておく。

予習時間：120分

復習内容：試験で解答できなかった部分を確認しておく。

復習時間：60分

第8回 中間テストのフィードバック/4課「比べて良さを伝える」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新しく学習する課の語彙や表現の意味を調べておく。

予習時間：30分

復習内容：比較して「良さ」を伝えるにはどうしたらよいか復習しておく。

復習時間：60分

第9回 4課「比べて良さを伝える」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：新しく学習する課の語彙や表現の意味を調べておく。

予習時間：30分

復習内容：比較して「良さ」を伝えるにはどうしたらよいか復習しておく。

復習時間：60分

第10回 4課「比へて良さを伝える」③（発表）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の準備をしておく

予習時間：90分

復習内容：発表した際に指摘された表現について復習しておく。

復習時間：30分

第11回 5課「友達を慰める・励ます」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：慰めたり励ましたりする時に、どういう表現を使うか考えておく。

予習時間：30分

復習内容：慰める時の会話のパターンを復習しておく。

復習時間：60分

第12回 5課「友達を慰める・励ます」②（発表）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：90分

復習内容：発表で指摘された表現を確認しておく。

復習時間：30分

第13回 6課「財布をなくして説明する」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：自分の財布の形状を言えるようにしておく。

予習時間：30分

復習内容：物をなくした時の会話のパターンを復習しておく。

復習時間：60分

第14回 6課「財布をなくして説明する」②（発表）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：90分

復習内容：発表で指摘された表現を確認しておく。

復習時間：30分

第15回 まとめ（敬語・比較・慰め・説明）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今までに勉強したことで何か分からないことはないか考えておく。

予習時間：60分

復習内容：全授業の内容をまとめて確認しておく

復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語リサーチメソッド2 <薬>				
英文名 :	Reseach Method in Japanese 2				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

留学生の中には、与えられた課題にはきちんと取り組めるものの、自らテーマを探して研究をすることが不得手な学生が多い。そこで、日本語リサーチメソッド1・2では、自ら研究を進めていくプロセスを学ぶ。また、口頭発表など日本語によるプレゼンテーションの技術を身につけることも目的としており、参加者は授業に積極的に参加することが望まれる。また、教材の説明文には難しい漢字や表現があるため、N1レベル以上の日本語能力を有する者の受講が望ましい。(学生の人数・レベルによっては、各回の授業予定内容は変更されることもある。)

■ 授業形態

対面授業(全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

論文を書くための研究方法について学ぶ

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4.異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身につけていること」の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

課題(授業内課題を含む) 60%

レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次回の授業時にフィードバックします。

■ 教科書

適宜プリントを配布する

■ 参考文献

[ISBN]9784874246184 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』

■ 関連科目

日本語リサーチメソッド1

日本語作文3・4を終えていることが望ましい。

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

kasamatsu@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス / 日本語の漢字 / 1課：ワードの使い方①

予習内容：シラバスを熟読してきてください。

予習時間：30分

復習内容：日本の漢字と自分の国の漢字の違いをまとめておいてください。

復習時間：60分

・1回目から出席をとり、進度によっては課題も出しますので、登録は1回目の授業までに済ませておいてください。（登録していない場合も欠席扱いとなります）

・成績にも関係してきますので、1回目から必ず出席してください。

・もし、初回までに登録できない理由があったり、同じ時間帯の他の授業と迷っているような場合は、その旨、事前に連絡してください。

第2回 1課：ワードの使い方②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：ワードの使い方を復習しておいてください。

復習時間：60分

第3回 2課：よい文章とは①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：よい文章とはどんな文章なのか復習しておいてください。

復習時間：60分

第4回 2課：よい文章とは②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：よい文章とはどんな文章なのかまとめておいてください。

復習時間：60分

第5回 3課：ナラティブ

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：ナラティブについて、復習しておいてください。

復習時間：60分

第6回 4課：定義①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：定義について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第7回 4課：定義②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：定義について、まとめておいてください。

復習時間：60分

第8回 5課：分類・例示①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：分類・例示について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第9回 5課：分類・例示②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：分類・例示について、まとめておいてください。

復習時間：60分

第10回 6課：比較・対照①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分
復習内容：比較・対照について、復習しておいてください。
復習時間：60分

第11回 6課：比較・対照②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。
予習時間：60分
復習内容：比較・対照について、まとめておいてください。
復習時間：60分

第12回 6課：比較・対照③（発表）

予習内容：発表の準備をしておいてください。
予習時間：60分
復習内容：発表で良かった点、悪かった点を確認しておいてください。
復習時間：60分

第13回 7課：論文を読む①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。
予習時間：60分
復習内容：論文の文章について、復習しておいてください。
復習時間：60分

第14回 7課：論文を読む②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。
予習時間：60分
復習内容：論文の文章について、まとめておいてください。
復習時間：60分

第15回 総復習（ナラティブ・定義・分類/例示・比較/対照・論文の文章）

予習内容：配布された資料に目を通しておいてください。
予習時間：60分
復習内容：これまでに学習した内容を確認しておいてください。
復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語アカデミックリーディング2 <薬>				
英文名 :	Academic Reading in Japanese 2				
担当者 :	木津 可奈子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

前期の「日本語アカデミックリーディング1」と同じく、新聞や雑誌などの記事を用い、様々な時事トピックについて読んでいく。時事問題を議論する際に必要な表現や語彙を学習し、さらにペアやグループによる活動を行う。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

日本語で時事問題を理解し、議論できるようになること。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

授業活動、授業中の課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に「試験の要点と解説」を配布します。

■ 教科書

プリントを配布

■ 参考文献

必要に応じて紹介する

■ 関連科目

日本語読解 1, 2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第2回 教育の現状（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第3回 観光の諸問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第4回 少子化と子育て支援（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第5回 Z世代の展望（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第6回 人間の仕事とAI（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第7回 農業の世界（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第8回 行動経済学の考え方（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第9回 医療の諸問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第10回 おもてなしとは何か（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第11回 電力の供給と温暖化対策（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第12回 ライフ・シフトー人生100年時代（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第13回 日本型雇用変えるときか（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第14回 変化する日本語（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第15回 宗教をめぐる（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

定期試験

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	日本語作文 4 <薬>						
英文名 :	Japanese Composition 4						
担当者 :	川渕 節子						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要

日本語作文1・2で学習した「論理的な文章」を書くための基本をベースに、本講義ではその応用としてよりアカデミックなレベルのレポート、論文要旨、学術論文などを書く力をつけていく。

毎回、テーマに合わせて文章表現や語彙を学ぶだけでなく、それらによって構築される典型的な文章の展開パターンを学習することによって、自然に学術的文章が書けるようになることを目的としている。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

学術的文章の典型的な展開パターンを身につけ、論理的な文章が正確に書く力を身につけることを目標としている。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題 60%

最終レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に前回の課題について解説する。

■ 教科書

適宜ハンドアウト配布

■ 参考文献

[ISBN]9784874241271 『大学生と留学生のための論文ワークブック』（浜田 麻里, くろしお出版）

■ 関連科目

日本語作文1. 2. 3

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回の授業で通知

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション 論文で使われる表現1（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：20分

復習内容：授業で学習した内容を振り返り、論文に適切な表現を習得する。

復習時間：30分

第2回 論文で使われる表現 2（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第3回 引用の方法（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第4回 論文の構成 1（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第5回 先行研究の紹介（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第6回 論拠提示 1（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第7回 論拠提示 2（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第8回 図表に関する表現と調査概要の説明（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第9回 レポート展開の技術（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第10回 時事問題をテーマにミニレポートを書く① 最終レポートのテーマとアウトラインを考える（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。最終レポートのテーマとアウトラインを考える。

予習時間：60分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第11回 時事問題をテーマにミニレポートを書く②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第12回 時事問題をテーマにミニレポートを書く③（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：30分

第13回 時事問題をテーマにミニレポートを書く④（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：60分

復習内容：添削された課題から、適切な表現や文体・正しい文法を知る。再提出を求められた場合は、再度提出する。

復習時間：60分

第14回 序論の要素 最終レポート執筆（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：序論を執筆する。

予習時間：60分

復習内容：序論の要素が含まれているかを確認し、序論を完成させる。

復習時間：60分

第15回 結論の要素 最終レポート執筆（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：最終レポートの執筆を進める。

予習時間：90分

復習内容：授業で学習したことを踏まえ、最終レポートを完成させる。

復習時間：90分

最終レポート提出

期日までに最終レポートを完成させ、提出する。

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	初修英語基礎1 <薬>						
英文名 :	Basic English as a Second Foreign Language 1						
担当者 :	溝上 瑛梨						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要

英語の基本的な文法事項を一通り学習し、英語の正しい運用の基礎となる文法能力の育成を目指します。授業では、取り上げた文法項目について学習・演習したのち、その文法項目を使用してリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの訓練をします。その中で、ペアワークやグループワークを行うことで学生同士の積極的なコミュニケーションを促し、学習したことの実践、定着を図ります。また、パラグラフ・ライティングやプレゼンテーションを通して、他者に英語で自分の意見を伝える練習も行います。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、

- (1)基礎的な英語文法を理解し、正しく運用することができるようになる。
- (2)基礎的な英語文法を、実際の英語によるコミュニケーションに応用できるようになる。
- (3)実践的な演習を通じて、英語によるコミュニケーションの場面に慣れる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 30%
小テスト 30%
発表・課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784791972210 『Live Escalate Book 1: Base Camp』（角山 照彦, 成美堂 : 2021)

■ 参考文献

適宜授業時に紹介します。

■ 関連科目

初修英語基礎2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師室, eri.mizokami@p.bus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜日 10:40 ~ 11:00

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション (授業形式: 講義)

予習内容: シラバスを読み、特に「授業概要」、「到達目標およびディプロマポリシーとの関連」、「成績評価方法および基準」を理解する。

予習時間: 45分

復習内容: 実力確認テストにおいて、難しいと感じたのが、どの文法項目だったのか確認しておく。

復習時間: 45分

授業の進め方、評価の方法等について説明します。また、受講者の現時点における英語の学習達成度を測るため、実力確認テストを行います。なお、このテストは成績には入りません。

第2回 Unit 1 Meeting New People その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: be動詞・一般動詞の現在形について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間: 45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、初めて出会う人との会話で用いる表現や、be動詞・一般動詞の現在形について学習する。

第3回 Unit 1 Meeting New People その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間: 60分

補助教材を用いてbe動詞・一般動詞の現在形を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第4回 Unit 2 School Life その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: 前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: Wh疑問文・現在進行形について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間: 45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、自分について伝える表現や、Wh疑問文・現在進行形について学習する。

第5回 Unit 2 Sports School Life その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間: 60分

補助教材を用いてWh疑問文・現在進行形を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第6回 Unit 3 Seeing a Doctor その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: 前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: be動詞・一般動詞の過去形について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間: 45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、病気の症状に関する表現や、be動詞・一般動詞の過去形について学習する。

第7回 Unit 3 Seeing a Doctor その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間: 60分

補助教材を用いてbe動詞・一般動詞の過去形を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・

解説する。

第8回 Unit 4 Expressing Yourself その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：各時制の違いについて確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、感情を伝える表現や、各時制の違いについて学習する。

第9回 Unit 4 Expressing Yourself その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

補助教材を用いて各時制の違いを復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第10回 Unit 5 Getting Around その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：To不定詞・動名詞・移動手段に用いる前置詞について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、交通手段に関する表現や、To不定詞・動名詞・移動手段に用いる前置詞について学習する。

第11回 Unit 5 Getting Around その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

補助教材を用いてTo不定詞・動名詞・移動手段に用いる前置詞を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第12回 Unit 6 Talking about the Time その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：過去進行形について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、電話での会話で用いる表現や、過去進行形について学習する。

第13回 Unit 6 Talking about the Time その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

補助教材を用いて過去進行形を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第14回 Review 1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

予習時間：45分

復習内容：問題で間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

テキストにある問題を解き、Unit 1～6の復習をする。

第15回 前期のまとめ (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：テキストのうち、Unit 1～6までのGrammarの部分を読み返し、全て理解できているか確認する。

予習時間：60分

復習内容：練習問題で間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：60分

補助教材を用いて、主に前期で扱った文法項目を復習する。

定期試験

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	初修英語基礎2 <薬>						
英文名 :	Basic English as a Second Foreign Language 2						
担当者 :	溝上 瑛梨						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要

英語の基本的な文法事項を一通り学習し、英語の正しい運用の基礎となる文法能力の育成を目指します。授業では、取り上げた文法項目について学習・演習したのち、その文法項目を使用してリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの訓練をします。その中で、ペアワークやグループワークを行うことで学生同士の積極的なコミュニケーションを促し、学習したことの実践、定着を図ります。また、パラグラフ・ライティングやプレゼンテーションを通して、他者に英語で自分の意見を伝える練習も行います。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク・プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、

- (1)基礎的な英語文法を理解し、正しく運用することができるようになる。
- (2)基礎的な英語文法を、実際の英語によるコミュニケーションに応用できるようになる。
- (3)実践的な演習を通じて、英語によるコミュニケーションの場面に慣れる。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 30%
小テスト 30%
発表・課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784791972210 『Live Escalate Book 1: Base Camp』（角山 照彦, 成美堂 : 2021)

■ 参考文献

適宜授業時に紹介します。

■ 関連科目

初修英語基礎1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師室, eri.mizokami@p.bus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜日 10:40 ~ 11:00

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション (授業形式: 講義)

予習内容: シラバスを読み、特に「授業概要」、「到達目標およびディプロマポリシーとの関連」、「成績評価方法および基準」を理解する。

予習時間: 45分

復習内容: 実力確認テストにおいて、難しいと感じたのが、どの文法項目だったのか確認しておく。

復習時間: 45分

授業の進め方、評価の方法等について説明します。また、受講者の現時点における英語の学習達成度を測るため、実力確認テストを行います。なお、このテストは成績には入りません。

第2回 Unit 7 Eating Out その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: Will・be going toについて確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間: 45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、レストランでの注文に用いる表現や、will・be going toについて学習する。

第3回 Unit 7 Eating Out その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間: 60分

補助教材を用いてwill・be going toを復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第4回 Unit 8 At the Supermarket その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: 前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 助動詞・可算名詞や不可算名詞について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間: 45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、指示を与える表現や、助動詞・可算名詞や不可算名詞について学習する。

第5回 Unit 8 At the Supermarket その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間: 60分

補助教材を用いて助動詞・可算名詞や不可算名詞を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第6回 Unit 9 Hobbies その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: 前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: SVC構文・所有代名詞について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間: 45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、余暇活動に関する表現や、SVC構文・所有代名詞について学習する。

第7回 Unit 9 Hobbies その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容: Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間: 45分

復習内容: Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間: 60分

補助教材を用いてSVC構文・所有代名詞を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説

する。

第8回 Unit 10 Shop Till You Drop その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：受動態・時間や金額を表す動詞について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、衣服に関する表現や、受動態・時間や金額を表す動詞について学習する。

第9回 Unit 10 Shop Till You Drop その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

補助教材を用いて受動態・時間や金額を表す動詞を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第10回 Unit 11 Going on Vacation その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：数量を表す代名詞・不定代名詞について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、旅行に関する表現や、数量を表す代名詞・不定代名詞について学習する。

第11回 Unit 11 Going on Vacation その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

補助教材を用いて数量を表す代名詞・不定代名詞を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第12回 Unit 12 Sports その1 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを読み通し、分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：比較級・最上級について確認する。Warm up, Conversation, Grammarの各パートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

Warm up, Conversation, Grammarの各パートを演習・解説し、スポーツに関する表現や、比較級・最上級について学習する。

第13回 Unit 12 Sports その2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

補助教材を用いて比較級・最上級を復習し、テキストのReading, Writing, Challenge Yourselfの各パートを演習・解説する。

第14回 Review 2 (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

予習時間：45分

復習内容：問題で間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

テキストにある問題を解き、Unit 7～12の復習をする。

第15回 後期のまとめ (授業形式: 演習を含む講義)

予習内容：テキストのうち、Unit 7～12までのGrammarの部分を読み返し、全て理解できているか確認する。

予習時間：60分

復習内容：練習問題で間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：60分

補助教材を用いて、主に後期で扱った文法項目を復習する。

定期試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語プレゼンテーション1 <薬>				
英文名 :	Presentaion in Japanese 1				
担当者 :	野村 由香里				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

- ・日本語プレゼンテーション1に引き続き、プレゼンテーションの方法について学び、実践する。
- ・日本語プレゼンテーション2ではトピックを専門的なものとし、実際に調査を行い、その結果をパワーポイントを使用して発表する。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1. 留学生が、専門的なトピックでのプレゼンテーション能力を身につける。
2. 留学生が自分で調査を行い、結果をパワーポイントにまとめ、わかりやすく伝える能力を身につける。
3. この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

口頭発表 40%
 評価シート 20%
 最終発表（定期試験） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に評価シートを返却します。
 試験の要点と解説を授業時間内に提示します。

■ 教科書

特に指定しない
 適宜ハンドアウトを配付する

■ 参考文献

[ISBN]9784894763371 『アカデミックプレゼンテーション入門—最初の一步から始める日本語学習者と日本人学生のための』（三浦 香苗, ひつじ書房）

[ISBN]9784874243725 『知のナビゲーター—情報と知識の海-現代を航海するための』（中澤 務, くろしお出版：2007）

■ 関連科目

日本語プレゼンテーション1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

youxiangli0920@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業ガイダンス・アンケート調査について（授業形式：講義）

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：シラバス／受講上の注意点をよく理解しておく

復習時間：30分

第2回 発表表現／PPTスライド作成上の注意点／グラフや表を説明する1 語彙・表現の学習（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料の新しい語彙や表現の意味を調べておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に会った新しい言葉の意味や表現を調べたりして、自分の発表にいかせるように見返しておく。

復習時間：60分

第3回 テーマ探し（授業形式：講義）

予習内容：自分の興味ある分野の関連資料を調べておく

予習時間：120分

復習内容：授業内でもらったアドバイスを参考に更に自分のテーマに関して再考する

復習時間：60分

第4回 アンケート調査1「テーマの決定」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：自分のテーマに関して更に調べてみる

予習時間：120分

復習内容：テーマについてよく熟考し、決定する

復習時間：60分

第5回 アンケート調査2「テーマの目的と質問肢」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表テーマと目的、目的にあった質問肢を考え、PPTに入れておく

予習時間：120分

復習内容：授業内にももらった意見を参考に、調査の目的と質問肢について再度する

復習時間：90分

第6回 アンケート調査3「質問肢①」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：PPTで調査のテーマ、目的、質問肢をまとめておく

予習時間：120分

復習内容：他の人からもらった意見を参考に、自分の考えた調査テーマ、目的、質問肢を見直し修正を加える

復習時間：60分

第7回 アンケート調査4「質問肢②」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：PPTで調査のテーマ、目的、質問肢をまとめておく

予習時間：90分

復習内容：他の人からもらった意見を参考に、自分の考えた調査テーマ、目的、質問肢を見直し修正を加える

復習時間：90分

第8回 アンケート調査5「アンケート調査の実施」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：アンケート調査が実施できるように、質問肢を見直し、人数分のコピーをしておく

予習時間：90分

復習内容：実施したアンケートの集計を始める

復習時間：120分

第9回 アンケート調査6「アンケート結果の集計」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：アンケート結果をまとめる

予習時間：120分

復習内容：結果のまとめの見直しをする

復習時間：90分

第10回 アンケート調査7「アンケート結果 考察からまとめ」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：考察から言えることをまとめとして、書いておく

予習時間：120分

復習内容：授業内に得たアドバイスをもとにまとめを見直し、修正を加えておく

復習時間：90分

第11回 アンケート調査8「発表原稿」の準備（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表原稿を準備する

予習時間：150分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、準備した発表原稿に訂正・修正を加える

復習時間：90分

第12回 アンケート調査9 発表リハーサル①（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表のリハーサルができるように、原稿、PPTを作成しておく

予習時間：150分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、発表の仕方、PPTを見直し、本番に備え準備しておく

復習時間：90分

第13回 アンケート調査10 発表リハーサル2（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表のリハーサルができるように、原稿、PPTを作成しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、発表の仕方、PPTを見直し、本番に備え準備しておく

復習時間：60分

第14回 アンケート調査11 発表1（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：本番の発表に備え、原稿・PPTを見直しておく。

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、自己評価表に記入する

復習時間：60分

第15回 アンケート調査12 発表2（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：本番の発表に備え、原稿・PPTを見直しておく。

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、自己評価表に記入する

復習時間：60分

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語プレゼンテーション2 <薬>				
英文名 :	Presentaion in Japanese 2				
担当者 :	野村 由香里				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

- ・日本語プレゼンテーション1に引き続き、プレゼンテーションの方法について学び、実践する。
- ・日本語プレゼンテーション2ではトピックを専門的なものとし、実際に調査を行い、その結果をパワーポイントを使用して発表する。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

1. 留学生が、専門的なトピックでのプレゼンテーション能力を身につける。
2. 留学生が自分で調査を行い、結果をパワーポイントにまとめ、わかりやすく伝える能力を身につける。
3. この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

口頭発表 40%
 評価シート 20%
 最終発表（定期試験） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に評価シートを返却します。
 試験の要点と解説を授業時間内に提示します。

■ 教科書

特に指定しない
 適宜ハンドアウトを配付する

■ 参考文献

[ISBN]9784894763371 『アカデミックプレゼンテーション入門—最初の一步から始める日本語学習者と日本人学生のための』（三浦 香苗, ひつじ書房）

[ISBN]9784874243725 『知のナビゲーター—情報と知識の海-現代を航海するための』（中澤 務, くろしお出版：2007）

■ 関連科目

日本語プレゼンテーション1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

youxiangli0920@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業ガイダンス・アンケート調査について（授業形式：講義）

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：シラバス／受講上の注意点をよく理解しておく

復習時間：30分

第2回 発表表現／PPTスライド作成上の注意点／グラフや表を説明する1 語彙・表現の学習（授業形式：講義）

予習内容：配布された資料の新しい語彙や表現の意味を調べておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に会った新しい言葉の意味や表現を調べたりして、自分の発表にいかせるように見返しておく。

復習時間：60分

第3回 テーマ探し（授業形式：講義）

予習内容：自分の興味ある分野の関連資料を調べておく

予習時間：120分

復習内容：授業内でもらったアドバイスを参考に更に自分のテーマに関して再考する

復習時間：60分

第4回 アンケート調査1「テーマの決定」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：自分のテーマに関して更に調べてみる

予習時間：120分

復習内容：テーマについてよく熟考し、決定する

復習時間：60分

第5回 アンケート調査2「テーマの目的と質問肢」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表テーマと目的、目的にあった質問肢を考え、PPTに入れておく

予習時間：120分

復習内容：授業内にももらった意見を参考に、調査の目的と質問肢について再度する

復習時間：90分

第6回 アンケート調査3「質問肢①」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：PPTで調査のテーマ、目的、質問肢をまとめておく

予習時間：120分

復習内容：他の人からもらった意見を参考に、自分の考えた調査テーマ、目的、質問肢を見直し修正を加える

復習時間：60分

第7回 アンケート調査4「質問肢②」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：PPTで調査のテーマ、目的、質問肢をまとめておく

予習時間：90分

復習内容：他の人からもらった意見を参考に、自分の考えた調査テーマ、目的、質問肢を見直し修正を加える

復習時間：90分

第8回 アンケート調査5「アンケート調査の実施」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：アンケート調査が実施できるように、質問肢を見直し、人数分のコピーをしておく

予習時間：90分

復習内容：実施したアンケートの集計を始める

復習時間：120分

第9回 アンケート調査6「アンケート結果の集計」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：アンケート結果をまとめる

予習時間：120分

復習内容：結果のまとめの見直しをする

復習時間：90分

第10回 アンケート調査7「アンケート結果 考察からまとめ」（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：考察から言えることをまとめとして、書いておく

予習時間：120分

復習内容：授業内に得たアドバイスをもとにまとめを見直し、修正を加えておく

復習時間：90分

第11回 アンケート調査8「発表原稿」の準備（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表原稿を準備する

予習時間：150分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、準備した発表原稿に訂正・修正を加える

復習時間：90分

第12回 アンケート調査9 発表リハーサル①（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表のリハーサルができるように、原稿、PPTを作成しておく

予習時間：150分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、発表の仕方、PPTを見直し、本番に備え準備しておく

復習時間：90分

第13回 アンケート調査10 発表リハーサル2（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：発表のリハーサルができるように、原稿、PPTを作成しておく

予習時間：90分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、発表の仕方、PPTを見直し、本番に備え準備しておく

復習時間：60分

第14回 アンケート調査11 発表1（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：本番の発表に備え、原稿・PPTを見直しておく。

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、自己評価表に記入する

復習時間：60分

第15回 アンケート調査12 発表2（授業形式：学生による発表と教師による評価）

予習内容：本番の発表に備え、原稿・PPTを見直しておく。

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、自己評価表に記入する

復習時間：60分

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語作文 1 <薬>				
英文名 :	Japanese Composition 1				
担当者 :	清水 優子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

日本語の文法を数多く学習し、能力試験や留学試験で高得点をとっている学習者でも、論理的な文章の読み書きができないために、大学での学習に困難を感じていることがあります。本講義では、論理的な文章を読み書きする能力が自然に確実に身につくように、多くの課題を用意しています。積極的に学習する意志のある学生の受講を歓迎します。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

感情や主観をおさえた論述文の書き方の基礎を学びます。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題提出 30%

中間課題（レポート） 30%

定期試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784757426320 『大学・大学院留学生の日本語 (2)』（アルク）

■ 参考文献

[ISBN]9784883194889 『小論文への12のステップ—中級日本語学習者対象』（友松 悦子, スリーエーネットワーク）

■ 関連科目

日本語作文 2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

yukoym@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：予習は必要ありませんが、辞書があるとよいです。

予習時間：30分

復習内容：学習した内容についてまとめておいてください。

復習時間：30分

第2回 表記（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：テキストを購入し、学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第3回 文体と書き言葉（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第4回 「は」と「が」（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第5回 正しい文の構造（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第6回 文のつながり（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第7回 小論文によく使われる表現（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第8回 段落①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第9回 段落②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第10回 テーマを述べる（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第11回 要約文を書く①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第12回 要約文を書く②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第13回 理由・経過を述べる（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第14回 定義する（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第15回 判明していることを述べる（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：今回学習した内容を復習し、定期試験の準備をしてください。

復習時間：60分

定期試験

前期で学習した内容の理解度を確認します。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語作文 2 <薬>						
英文名 :	Japanese Composition 2						
担当者 :	清水 優子						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要

日本語作文 1 に続いて、引き続き論理的な文章を書く力を身に付ける練習をしていきます。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

感情や主観をおさえた論述文の書き方の基礎を学びます。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題提出 30%

中間課題（レポート） 30%

定期試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784757426320 『大学・大学院留学生の日本語 (2)』（アルク）

■ 参考文献

[ISBN]9784883194889 『小論文への12のステップ—中級日本語学習者対象』（友松 悦子, スリーエーネットワーク）

■ 関連科目

日本語作文 1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

yukoyms@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：予習はいりませんが、辞書を持ってきてください。

予習時間：30分

復習内容：今回学んだ内容をしっかり復習しておいてください。

復習時間：30分

第2回 説明文を書く（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第3回 問題点を述べる（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第4回 引用する（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第5回 解決策を述べる（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第6回 手順を述べる（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第7回 指示詞を使う（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第8回 意見文を書く①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第9回 意見文を書く②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第10回 事実を示す①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第11回 事実を示す②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第12回 小論文を書く①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布資料①を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第13回 小論文を書く②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布資料②を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第14回 小論文を書く③（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布資料③を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第15回 小論文を書く④（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布資料④を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正、内容をまとめ、定期試験の準備をしてください。

復習時間：60分

期末試験

小論文の要約

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	能力試験対策1 <薬> (平成27~令和元年度入学生用)				
英文名 :	JLPT Preparation 1				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

能力試験N1の文法、文字語彙、読解を中心にさまざまな市販の問題集から日本語能力を向上させる問題を厳選し、試験と同じ時間配分で学生が取り組む。その後解答と解説を講師が行う。能力試験が近づくとも模擬試験を行い、試験の本番に緊張しないように慣れておくようにする。能力試験合格後も日本語力に自信を持てるように文法などを勉強する。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

該当なし

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

能力試験N1高得点合格。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト、課題 20%

演習への取り組み 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をgoogle classroomに掲載。

■ 教科書

プリントを配布。不可能な場合はテキストとして問題集を選択する。

■ 参考文献

授業中にその都度紹介する。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

授業内で行う。

■ 研究室・メールアドレス

研究室なし。fwns1098@gmail.com

■ オフィスアワー

授業後。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

受講生の希望に合わせて、N1の文字語彙、文法、読解の問題をプリントで解く。その後答えあわせを行う。わからない問題に関しては講師が丁寧に解説する。希望があれば適宜聴解も含め模擬試験を行う。

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分

第1回 能力試験合格の心得（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
どうすれば合格するか自己分析から始めよう

第2回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
N1の文字語彙、文法、読解の問題

第3回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
N1の文字語彙、文法、読解の問題

第4回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
N1の文字語彙、文法、読解の問題

第5回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
N1の文字語彙、文法、読解の問題

第6回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
N1の文字語彙、文法、読解の問題

第7回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
N1の文字語彙、文法、読解の問題

第8回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分
復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
復習時間：60分
N1の文字語彙、文法、読解の問題

第9回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題
予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第10回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第11回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第12回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第13回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第14回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第15回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

定期試験

文字語彙文法

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	能力試験対策2 <薬> (平成27~令和元年度入学生用)				
英文名 :	JLPT Preparation 2				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

能力試験N1の文法、文字語彙、読解を中心にさまざまな市販の問題集から日本語能力を向上させる問題を厳選し、試験と同じ時間配分で学生が取り組む。その後解答と解説を講師が行う。能力試験が近づくとも模擬試験を行い、試験の本番に緊張しないように慣れておくようにする。能力試験合格後も日本語力に自信を持てるように文法などを勉強する。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

能力試験N1高得点合格。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト、課題 20%

演習への取り組み 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却。

■ 教科書

受講生の希望に合わせて市販の教材から決定する。

■ 参考文献

授業中にその都度紹介する。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

授業内で行う。

■ 研究室・メールアドレス

研究室なし。fwns1098@gmail.com

■ オフィスアワー

授業後。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

受講生の希望に合わせて、N1の文字語彙、文法、読解の問題をプリントで解く。その後答えあわせを行う。わからない問題に関しては講師が丁寧に解説する。希望があれば適宜聴解も含め模擬試験を行う。

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第10回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第11回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第12回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第13回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第14回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第15回 N1の文字語彙、文法、読解の問題（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

定期試験

文字語彙文法

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	初修英語コミュニケーション1 <薬>				
英文名 :	English Communication as a Second Foreign Language 1				
担当者 :	有本 好一郎				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

毎回の授業で語彙の習得、文法演習、リスニング、スピーキングとバランスよく学習し、英語力の向上を図ります。必要があれば基礎文法の再確認、TOEICの演習も行います。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講学生は授業で学んだことを使い英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）でコミュニケーションが取れるようになること。また、積極的にTOEICなどの英語資格試験の目標を持ってチャレンジすること。この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関連している。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題、クイズ 50%
定期試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

ハンドアウト教材

■ 参考文献

辞書を持参すること。

■ 関連科目

初修英語コミュニケーション2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師控室
email:kindai2011@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

木曜日4時限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、TOEICの説明、サンプルクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

TOEICの試験内容、企業が要求するスコアなどを説明。

第2回 名詞、代名詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第3回 be動詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第4回 一般動詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第5回 助動詞1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第6回 助動詞2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第7回 否定文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第8回 疑問文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第9回 命令文、感嘆文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第10回 5文型

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第11回 時制1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第12回 時制2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第13回 進行形

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第14回 受動態1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第15回 TOEICミニクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

ハンドアウト教材で学習、解答確認

定期試験

前期の学習内容から出題。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	初修英語コミュニケーション2 <薬>				
英文名 :	English Communication as a Second Foreign Language 2				
担当者 :	有本 好一郎				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

メディア授業で語彙の習得、文法演習、リスニング、スピーキングとバランスよく学習し、英語力の向上を図ります。必要があれば基礎文法の再確認、TOEICの演習も行います。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講学生は授業で学んだことを使い英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）でコミュニケーションが取れるようになること。また、積極的にTOEICなどの英語資格試験の目標を持ってチャレンジすること。この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

課題提出 50%
課題内容 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

ハンドアウト教材

■ 参考文献

辞書を持参すること。

■ 関連科目

初修英語コミュニケーション1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師控室
email:kindai2011@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

木曜日4時限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、TOEICの説明、サンプルクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

TOEICの試験内容、企業が要求するスコアなどを説明。

第2回 受動態2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第3回 不定詞1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第4回 不定詞2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第5回 動名詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第6回 分詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第7回 分詞構文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第8回 比較1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第9回 比較2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第10回 関係詞1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第11回 関係詞2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第12回 関係詞3

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第13回 前置詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第14回 接続詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第15回 TOEICミニクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

定期試験

後期の学習内容から出題。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語会話 3 <薬>				
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 3				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業では、敬語の表現を通して、目上の人に対して「失礼ではない話し方」を学ぶ。また、中上級レベルで相手に自分の言いたいことがうまく伝わらないことの一つに「自動詞・他動詞」「助詞」の間違ひがあるが、これらの間違ひに、自らが気づき「正確な発言」ができるよう、自己修正できる能力を身につけることを目指す。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

やや高度な敬語を用いた会話表現の習得。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けること」の達成に参与している。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題 40%

中間テスト 30%

定期テスト 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間にフィードバックをします。

■ 教科書

適宜プリントを配布。

■ 参考文献

[ISBN]9784883193615 『会話に挑戦!中級前期からの日本語ロールプレイ』(中居 順子, スリーエーネットワーク: 2005)

[ISBN]9784872179538 『CD付 1日10分のシャドーイング! 就活・仕事のにほんご会話 Ichinichi 10-pun no Shadooingu! Shuukatsu/Shigoto no Nihongo Kaiwa』(公益社団法人 国際日本語普及協会 (AJALT), アスク: 2015)

[ISBN]9784866395708 『[音声DL版] 新にほんご敬語トレーニング』(金子広幸, アスク: 2022)

■ 関連科目

日本語会話1,2,4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

kasamatsu@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス / 1 課：好印象を与える自己紹介①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスを熟読しておく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

- ・ 1回目から出席をとり、進度によっては課題も出しますので、登録は1回目の授業までに済ませておいてください。（登録していない場合も欠席扱いとなります）
- ・ 成績にも関係してきますので、1回目から必ず出席してください。
- ・ もし、初回までに登録できない理由があったり、同じ時間帯の他の授業と迷っているような場合は、その旨、事前に連絡してください。

第2回 1 課：好印象を与える自己紹介②（発表）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：60分

復習内容：発表で良かった点・悪かった点を確認しておく。

復習時間：30分

第3回 2 課「敬語の復習」（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を確認しておく。

復習時間：60分

第4回 3 課「敬語：訪問」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第5回 3 課「敬語：訪問」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第6回 4 課「敬語：あいさつ」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第7回 4 課「敬語：あいさつ」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第8回 ■ 中間テスト（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：テストの準備をしておく。

予習時間：120分

復習内容：テストでできなかった部分を確認しておく。

復習時間：60分

第9回 中間テストのフィードバック / 5 課「敬語：誘う」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第10回 5 課「敬語：誘う」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第11回 6課「敬語：依頼」①（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第12回 6課「敬語：依頼」②（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った表現を復習しておく。

復習時間：60分

第13回 7課「希望の部屋を探す」（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った会話のパターンを復習しておく。

復習時間：60分

第14回 8課「電話でアルバイトに応募する」（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：授業で習った会話のパターンを復習しておく。

復習時間：60分

第15回 総復習（訪問・挨拶・誘う・予約・依頼・申し出・断る）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：今までに習った全ての言葉や表現で分からないものはないか確認しておく。

予習時間：60分

復習内容：今までに習った全ての言葉や表現を確認しておく。

復習時間：120分

定期試験

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	プロジェクトワーク1 <薬> (令和2~3年度入学生用)				
英文名 :	Presentaion in Japanese 1				
担当者 :	河崎 絵美				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

日本語でプロジェクトを遂行し、完成・発表をします。
授業中や課題作業時は日本語で行うこと。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グループやペアで協力してプロジェクトを完成させることができる。
話し合いやプロジェクト作成では積極的に自分の意見を日本語で表現することができる。
発表時には、日本人の話す自然な日本語表現で話すことができる。
この授業はディプロマポリシーの4に値する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%
授業中課題 30%
発表 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題や発表に対しては即時フィードバックを口頭で行う。
定期試験は模範解答やキーワード等をユニバに掲載する。

■ 教科書

適宜指示します

■ 参考文献

適宜指示します。

■ 関連科目

留学生日本語科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部準拠で行う。

■ 研究室・メールアドレス

emi.kawasaki@lac.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 コンセンサスゲーム（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスをよく読み、授業について理解をする

予習時間：30分

復習内容：シラバスを読み、履修確認をする

復習時間：30分

自己紹介を含め、自分の考えや意見を日本語で伝える練習（コンセンサスゲーム）をします。

授業の進め方や評価表法についても説明いたします。

第2回 ディスカッション（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ディスカッションの方法について調べる

予習時間：30分

復習内容：自分のディスカッションを振り返る

復習時間：30分

指定されたテーマについてディスカッションをします。

グループで活動を行います。

活動後は代表者が発表をします。

第3回 プロジェクト①調査（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：検索ができるようパソコンや携帯の準備をする

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

グループを決め、与えられたテーマについて調査を開始します。

情報収集や資料収集をします。

第4回 プロジェクト①情報・資料整理（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：情報共有の準備をする

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

各人が集めた情報や資料を整理します。

発表の全体の流れを考え、大枠を完成させます。

第5回 プロジェクト①発表準備（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：グループ作業を調整する

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

発表のための資料（パワーポイント）を完成させる。

発表の順番や台詞を考え、練習をする。

第6回 発表（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の練習をする

予習時間：60分

復習内容：他者評価を参考にフィードバックする

復習時間：30分

発表および質疑応答を行います。

他者評価を行います。

第7回 プロジェクト②インタビュー（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：インタビュー内容を考える

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

日本人大学生に聞きたいこと、知りたいことなどテーマをグループでテーマを設定し、そのテーマを完成させるために必要な情報や資料を集めます。

第8回 プロジェクト②インタビュー内容を考える（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：インタビュー内容を考える

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

どのような日本語表現で、どのように聞けば早くインタビューを引き受けてくれるのか等、インタビュー項目とそれ以外の日本語表現を考える。

第9回 プロジェクト②インタビュー練習（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：インタビューの練習をする

予習時間：30分

復習内容：フィードバックをする

復習時間：30分

お互いにインタビューの練習をする。

インタビュー中のデータのとりかたやメモの方法など具体的な内容や役割分担を確認する。

第10回 インタビュー実施（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：インタビューの練習をする

予習時間：30分

復習内容：フィードバックをする

復習時間：30分

学内でインタビューを実施する。

実施後はグループで分析について話し合う。

第11回 プロジェクト②まとめ（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：インタビュー結果をまとめる

予習時間：60分

復習内容：フィードバックをする

復習時間：30分

インタビューの結果を報告する。

第12回 プロジェクト③観光マップ（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：必要な写真や筆記用具を準備する。パソコンでも良い

予習時間：10分

復習内容：授業内でできなかった作業をすすめる

復習時間：30分

海外から家族や友達がきたときを想定して、自分なりのガイドブックを作成します。

写真やイラスト等を用いて、もらった人が楽しくなるよう日本語表現も工夫しましょう。

第13回 プロジェクト③観光マップ作成（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：参考資料を準備する

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業を進める

復習時間：30分

地図や写真、イラストなどを使ってマップを作成する。

マップに書き込む日本語表現を考える。

第14回 プロジェクト③観光マップ発表（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の練習をする

予習時間：30分

復習内容：フィードバックをする

復習時間：30分

観光マップ作成の背景を話し、自分のお勧めやモデルコースを提案する。

質疑応答を行います。

第15回 作文（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：前期の振り返りを行う。

予習時間：30分

復習内容：授業の振り返りを行う。

復習時間：30分

テーマに沿って自分の意見や考えをまとめる。

定期試験

いくつかのテーマの中から一つを選び自由に論じます。

文章校正やタイトルの付け方、日本語表現に気を付けて書くこと。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	プロジェクトワーク2 <薬> (令和2~3年度入学生用)				
英文名 :	Presentaion in Japanese 2				
担当者 :	河崎 絵美				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要

日本語でプロジェクトを遂行し、完成・発表をします。
授業中や課題作業時は日本語で行うこと。

■ 授業形態

対面授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート・グループワーク・プレゼンテーション

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グループやペアで協力してプロジェクトを完成させることができる。
話し合いやプロジェクト作成では積極的に自分の意見を日本語で表現することができる。
発表時には、日本人の話す自然な日本語表現で話すことができる。
この授業はディプロマポリシーの4に値する。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 40%
授業中課題 30%
発表 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題や発表に対しては即時フィードバックを口頭で行う。
定期試験は模範解答やキーワード等をユニバに掲載する。

■ 教科書

適宜指示します

■ 参考文献

適宜指示します。

■ 関連科目

留学生日本語科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部準拠で行う。

■ 研究室・メールアドレス

emi.kawasaki@lac.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 コンセンサスゲーム（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：シラバスをよく読み、授業について理解をする

予習時間：30分

復習内容：シラバスを読み、履修確認をする

復習時間：30分

自己紹介を含め、自分の考えや意見を日本語で伝える練習（コンセンサスゲーム）をします。

授業の進め方や評価表法についても説明いたします。

第2回 ディスカッション（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：ディスカッションの方法について調べる

予習時間：30分

復習内容：自分のディスカッションを振り返る

復習時間：30分

指定されたテーマについてディスカッションをします。

グループで活動を行います。

活動後は代表者が発表をします。

第3回 プロジェクト①アンケート（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：検索ができるようパソコンや携帯の準備をする

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

日本人大学生にアンケート調査を実施します。

日本人大学生の何を知りたいのか、何を聞きたいのかをグループで話し合ひましょう。

アンケートはGoogle等を使用し、紙媒体は使用いたしません。その方法も話し合ひましょう。

第4回 プロジェクト①アンケート項目作成（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：情報共有の準備をする

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

アンケート項目を作成します。

項目を作成し、その項目の日本語表現をグループ間で確認し加筆修正をします。

第5回 プロジェクト①アンケート作成（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：グループ作業を調整する

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

アンケート全体の見直しや修正を行います。

完成したグループから日本人大学生に協力を求めましょう。

第6回 プロジェクト①アンケート集計および考察（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：アンケート集計をする

予習時間：60分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：30分

アンケートを集計し、表やグラフを作成します。

結果をもとにグループ内で考察をし、発表準備をすすめます。

第7回 プロジェクト①発表（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の練習をする

予習時間：30分

復習内容：フィードバックをし感想文を提出する

復習時間：60分

発表をします。質疑応答を行います。

発表に対するフィードバックを口頭で行います。

発表後は各自でフィードバックをし、感想文をまとめて提出をします。

第8回 プロジェクト②笑いの効果を考える（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：自分なりにアイデアを考える

予習時間：30分

復習内容：授業内にできなかった作業をすすめる

復習時間：60分

歌・ダンス・演劇・漫才・落語・・・笑いについて考察します。

最近最も笑った話しをお互いに発表し、笑いを共有する活動から始めます。

笑うことは人間にとってどのような効果があるのか、あるいはどのような効果が期待できるのかを明らかにする。

第9回 プロジェクト②落語や漫才の笑いを考える（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：落語や漫才について調べる

予習時間：30分

復習内容：授業でできなかった作業をすすめる

復習時間：30分

好きな落語や漫才を選び、どこがどうして笑えるのかを分析する。

第10回 プロジェクト②笑いを作る（テーマ決定）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：笑いを作る

予習時間：30分

復習内容：授業でできなかった作業をすすめる

復習時間：30分

個人、あるいはペアで落語か漫才を考える。

あるいは、漫才をコピーする。

そのための作業をします。

第11回 プロジェクト②笑いを作る（内容作成）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：内容を考えてくる

予習時間：30分

復習内容：授業でできなかった作業をすすめる

復習時間：30分

笑いのタイトルに沿った内容を考える。

台詞を書く。

第12回 プロジェクト②笑いをつくる（内容の加筆修正）（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：スクリプトを完成させる

予習時間：30分

復習内容：授業内でできなかった作業をすすめる

復習時間：30分

前回作成したスクリプトの日本語表現の確認、修正などを行います。

第13回 プロジェクト②発表（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の練習をする

予習時間：30分

復習内容：フィードバックをする

復習時間：30分

発表をします。

審査員役をたて、No1を決定します。

第14回 プロジェクト③私の国の昔の遊び（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：昔の遊びについて調べる

予習時間：30分

復習内容：授業中にできなかった作業をすすめる

復習時間：30分

日本には、お手玉やかると、凧揚げやコマ回しといった昔の遊びがあります。

自分の国の昔の遊びについて日本と比較をし、将来、それらの遊びがどのように変化するかを予測します。

それについて発表をするための準備作業をします。

第15回 プロジェクト③発表（授業形態：講義またはアクティブラーニング）

予習内容：発表の練習をする

予習時間：30分

復習内容：フィードバックをする

復習時間：30分

発表をします。

発表を聞き、その遊びをしてみたいと思ったものに票を入れ、全員で評価をします。

定期試験

いくつかのテーマの中から一つを選び自由に論じます。
文章校正やタイトルの付け方、日本語表現に気を付けて書くこと。

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-